



学びの庭

甲府市立甲運小学校
学校だより第9号
平成28年12月26日
(文責：勝村 正樹)



明日から冬休みに入ります！よいお年をお迎えください



2学期もご協力いただきありがとうございました

今日の終業式に臨んだ子どもたちは、冬休みが待ち遠しいのか、いつも以上にこやかな表情を浮かべていました。保護者の皆様には、2学期も甲運小教育への変わらぬご理解とご協力をいただきまして本当にありがとうございました。

さて、明日から冬休みに入ります。家族団らんの時間を大切にさせていただくとともに、家族の一員として子どもたちの自覚を高めるためのご配慮とご指導をお願いいたします。また冬休み中、事故や事件に巻き込まれることのないよう、その都度声かけをしてください。「車に気をつけて。」「遅くならないうちに帰っておいで。」「この繰り返しが大切だと思います。何度も子どもたちに言葉をかけてください。」「おはよう」「おやすみ」このような何気ない家族のあいさつも忘れないでください。

それでは、ご家族そろってよい年をお迎えください。

心がほっとスマイル

2学期も子どもたちの行いには目を見張るものがありました



- ・十郎橋西を登校する子どもたちの様子を見に行った時のことです。登校班長の6年生や5年生が横断歩道を渡る際、旗振りの保護者の方を見ながら「ありがとうございます」と言いながら通り過ぎていきます。当たり前のことのようですが、「当たり前ことが自然にできる」ことに感心しました。私はこの日の朝、清々しい気持ちで学校に戻りました。

福祉教育の充実 「ともに学び、ともに生きる」

すべての人がかけがえのない存在として共に支え合うことの大切さを学びました

今年度も甲運地区社会福祉協議会から援助をしていただき、1年生から4年生まで福祉の授業を行いました。人はみんな違うということ、違うがゆえに一人一人が尊重されなければならないという理念に立って、「違うことは素晴らしいということを豊かさに」した教育活動をこれからも進めていきたいと思えます。



【1年：手話ってなあに】 【2年：盲導犬について】 【3年：小池さんと車椅子】 【4年：スルーネットピンポン】

甲運わいわいフェスティバル開催！！

11月25日に児童会が中心となり「甲運わいわいフェスティバル」が開かれました。

多くの保護者の方々の参加もあり、子どもたちが出したゲームのお店も大盛況でした。

はじめの会の中で、私は子どもたちに「今日は誰かに何かをしてあげる幸せをたくさんつくってほしい」と話しましたが、この言葉どおりの「してあげる」優しさがいっぱいあった会となりました。



大切なものは目に見えない！！

言葉の指導を大切にしていきます！

「大切なものは目に見えない」と言われます。以前話題となったサン＝テグジュペリの「星の王子さま」でも有名な言葉です。

目に見えない大切なものとは何でしょうか。思いやり、やさしさ、感謝などでしょうか。しかし、それを見える形で伝えるものが言葉です。誰かからのやさしさを感じるのは、「がんばれ。いつも応援しているよ。」という言葉です。温かい言葉かけを大事にしていきたいと思えます。



「考える書写」教育の推進 ー自己批正から始まる文字指導ー

「書き初め大会」に備え、特別授業を実施しました

私は4・5・6年生の各学級におじゃまして、書写の特別授業をさせてもらいました。まず、手本を見ないで課題の文字を書き、手本と自分のものとを比べ、自己批正（自己分析）をしました。そして、手を筆に見立て、一緒に大きく書いてみました。子どもたちはみんな真剣な眼差しで「空書き」をしていました。



大型テレビに私の運筆の様子を映し出すと、子どもたちは食い入るように見えています。始筆や終筆などがよく分かるので、このやり方は効果的なのです。



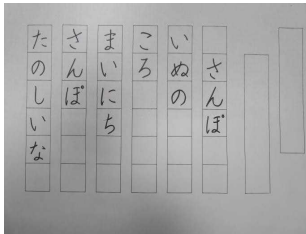
【組み立て練習用紙に取り組む様子】

その後、私が作成した4種類の練習用紙（かご字練習用紙・骨書き練習用紙・組み立て練習用紙・配分練習用紙）に取り組みました。子どもたちが意欲的に筆を運んでいる姿を見て、これからの書写学習にもよりいっそうがんばってほしいと思いました。

冬休みの課題の参考にしてください 整った字形を目指そう

まず、「字形を整えて書く」ことが一番大切です。この気持ちを忘れずに練習させてください。書き初めの課題の文字の中にも「とめ」「はね」「はらい」「まがり」「おれ」など小学校6年間で身に付けなければならない基本点画が含まれています。

1年



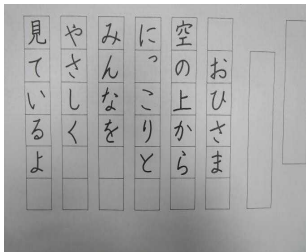
初めての書き初めです。丁寧に練習させてください。とにかく褒めることが大切です。上手に書けたら一字一字に丸を付けてあげてください。励みになります。

4年



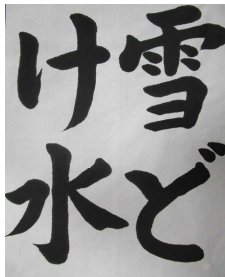
「大」には、左はらいと右はらいがあります。どちらもゆっくりはらうことが大切です。二画目は、一画目と交わるまで真っ直ぐ下ろしていくのが原則です。「空」は、上の「あなかんむり」を大きめに書くようにします。

2年



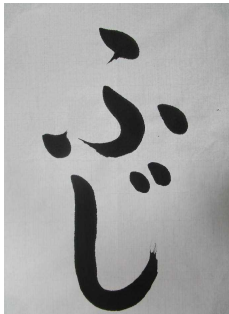
「空・上・見」の三つの漢字をやや大きめに書きます。「ひ」の形が難しいのでしっかり整えて書けるように練習します。「ま・な・よ」の結び方に注意します。

5年



漢字とひらがなのバランスが大切です。ひらがなはやや小さめに書くようにします。「雪」は雨かんむりを右上がりに堂々と書きます。「水」には、左はらいと右はらいが含まれているので、穂先をまとめて慎重にはらうようにしましょう。

3年



今回初めての毛筆です。「全体的に丸く書く」ことを意識させてください。「ふ」「じ」のそれぞれのひらがながつながっているイメージで書くようにします。半紙を汚さないように気を付けながら書くことも大切です。細い線を出す時には、穂先だけを使う練習もしてみてください。

6年



「早」「春」の上下の中心がそろうように注意しながら書くようにします。「春」は、「日」が上の右はらいに接することのないように気を付けてください。「光」は墨を付けすぎると暗い感じになってしまうので墨量を控えめにするとよいでしょう。

*上の写真のように私もそれぞれの学年の課題を書きました。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ 「よく学びよく遊べ」を実行してほしいと思います

休み時間に職員室から外に目をやると、校庭では大勢の子どもたちが遊んでいます。サッカーに興じる子どもがいるかと思えば、一輪車を夢中で乗りこなす子どもがいるというように賑やかな風景がいつも広がっているのです。そして、決められた時刻になると教室に戻っていき、校庭はまた静寂に包まれるのです。休み時間に元気に外で遊ぶ子どもたち、これが自慢です。



